

神戸淡路鳴門自動車道 新料金制度に反対!!

高速料金値上げに抗議、決起集会行う

神戸淡路鳴門自動車道が実質値上げとなる国(国土交通省)の新料金体系に抗議・反対するため5月8日、島民決起集会が淡路ハイウェイオアシスで行われました。集会には、自治会や様々な業界関係者ら同自動車道利用促進島民会議の構成メンバー55団体、約1,000人が「格差料金反対」等のプラカードのぼりを持ち集結。「料金値上げ反対!」と、こぶしを突き上げ力強く訴えました。

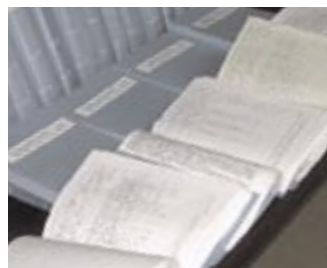
また、4月下旬からゴールデンウィークにかけて署名活動を実施。自治会の隣保回覧や各種団体、観光施設やイベント会場で募った結果、島内で約14万人もの多くの署名が集まりました。

5月21日には、集まった署名を手に淡路島民会議を代表して淡路島市長会や各種団体代表者、また淡路島3市議会などが上京し、国土交通省や民主党副幹事長、兵庫県選出国會議員に対し新料金体系の見直しを求め、淡路島民の強い想いを伝えました。

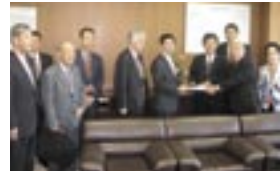
兵庫県と島内3市及び3市議会は、新料金体系の実施に伴う、競合する他の公共交通機関についても同時に救済支援するよう要望活動を行っています。

☎市長公室 ☎43-5002

14万人の署名を国に提出。 高速道路の新料金体系の見直しを求める。



▲要望を民主党へ



▲要望を国土交通省へ

志知(しち)

『続三原郡史』

地名の由来

その12



「湿」の転訛…?

西淡町と三原町の両町にまたがる大字の冠称となっていた。明治十年の町村合併で、志知北村、鑪村、佐礼尾村、松本村が合併して志知村となった。その志知村が、町村制施行により、片田村、河内村、高島村と合併して志知村となった。昭和三十二年七月一日、志知村は、いったん西淡町に合併したが、その年の十月一日に、佐礼尾、松本、中島、難波地区を境界変更して、三原町に編入した経緯がある。初見は、貞応二年(1223)の「淡路国大田文」で「西神代郷、田四十八町三百卅歩、志知此内也、但、右馬允一在廳屋敷也、此外國中無志知庄也」とある。これによると、西神代郷の中に志知があり、そこに右馬允という在庁官人の屋敷がある。それ以外、淡路に志知という荘園はない。西神代郷は、中島から西の地域に比

定される。在庁とは国衙の役人で、右馬允は「淡路国大田文」に署名している有力な土着の武士で、承久の乱に生き残ったものであろう。『太平記』によれば、志知の武士団が阿間(阿万) 武士団とともに南朝方について活躍している。志知の武士団は水軍であった。『重修淡路常盤草』(宝暦8年)では、中世において松本・鑪・志知北村が志知庄と呼ばれていたと書かれている。それは志知城を中心とした地域である。大日川は、近世初めまで、瀬戸内海から、志知城まで船で運ぶことができた。護岸のない中世の大日川は、蛇行して、湿地帯が多かった。志知の語源は、「湿」の転訛と考えられる。

第7編 各説 地名の改変
三原郡の大字と冠称の由来から抜粋
3000人余の人名掲載!

編集事務局

市長公室 ☎43・5002

URL: <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/>

E-mail: kouhou@city.minamiawaji.hyogo.jp

TEL(0799)43-5003 FAX(0799)43-5103